

高校生 I C T 2016 Conference

in 静岡

「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】

～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

開催報告書

2016年9月25日(日) 10:00-17:00

【会場】専門学校 静岡電子情報カレッジ

主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

専門学校 静岡電子情報カレッジ



2016

2016年11月2日

目 次

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2016 in 静岡 開催概要	4
4. 主担当	8
5. 高校生 ICT Conference 2016 サミット	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	9

1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2016</p> <p>テーマ：「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】 ～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁</p> <p>専門学校 静岡電子情報カレッジ</p>
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道私立中学高等学校協会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県高等学校 PTA 連合会、新潟県教育委員会、新潟県高等学校長協会、新潟県高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、北陸携帯電話販売店協会、静岡県、静岡県教育委員会、静岡県公立高等学校 PTA 連合会、東京都教育委員会、東京都高等学校情報教育研究会、神奈川県教育委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム、高知県教育委員会、高知新聞、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会</p>
協賛：	<p>グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE 株式会社、エースチャイルド株式会社、株式会社メディア開発綜研、Twitter Japan 株式会社、一般社団法人情報教育研究所</p>
協力： (順不同)	<p>アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、NPO 法人 e-Lunch、株式会社朝日出版社、ストップイットジャパン株式会社、特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに追加して 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。2015 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省で発表を行いました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的</p>

	<p>側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】 ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地	募集参加生徒 30 名
募集人員等：	募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2016 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） ・ 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） ・ 他、関係者団体、事業者等

	<p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道（札幌）	2016年10月16日（日）11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道（帯広）	2016年10月15日（土）11:00-17:00	とかちプラザ
	宮城	2016年8月22日（月）10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2016年9月19日（月）10:00-17:00	石川県女性センター
	長野	2016年10月1日（土）10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2016年8月20日（土）10:00-17:00	ガレソンホール
	東京	2016年9月4日（日）10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2016年9月11日（日）10:00-17:00	岩崎学園
	静岡	2016年9月25日（日）10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	大阪	2016年8月28日（日）10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2016年10月2日（日）10:00-17:00	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	高知	2016年8月23日（火）9:30-16:30	ちより街テラス
	福岡	2016年8月18日（木）12:30-17:00	アクロス福岡
	大分	2016年10月2日（日）10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
東京サミット	2016年11月3日（木）13:00-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS	
最終報告会	2016年12月中旬頃		

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。（サミット熟議のみ参加）※2015年度実績：沖縄、福井

3. 高校生 ICT Conference 2016 in 静岡 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 48 名の参加者を得て、「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】</p> <p>司会進行・主旨説明</p> <p>学校法人中村学園 専門学校 静岡電子情報カレッジ 中村 健太郎 様</p> <p>高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを簡単に説明いただきました。</p> <p>開会の挨拶</p> <p>学校法人中村学園 専門学校 静岡電子情報カレッジ 理事 中村 徹 様</p> <p>本日は高校生同士で意見交換する場。どんどん意見交換してもらい、学校に戻ってから是非内容を仲間とシェアし、自分の今後の人生の中で生かしていただきたい。代表になった学校は静岡県の声を全国に届けてほしい。</p> <p>とお言葉をいただきました。</p> <p>総務省 東海総合通信局 情報通信部電気通信事業課長 深津 徹 様</p> <p>以下お話しいただきました。</p> <p>インターネット利用を巡るトラブルや被害等の増加、サイバー攻撃の多様化により、安全に利用するためには、インターネット利用にかかるリテラシーがより一層必要となっています。総務省では啓発講座「e-ネットキャラバン」や「青少年のインターネット・リテラシー指標によるテスト調査」を高校生向けに毎年実施しています。</p> <p>本日は皆さんがインターネットの安全利用のために必要なマナーやモラルを考えるきっかけとなってもらえればと思います。</p> <p>消費者庁 消費者政策課 主査 吉川 雄一朗 様</p> <p>以下お話しいただきました。</p> <p>消費者庁ではインターネット利用を巡る消費者トラブルに対応する制度作りや悪質な業者の取り締まり、相談窓口を行う事業者や団体との連携などを進めています。</p> <p>消費者自身も安全利用について考え、実践することが必要です。本日は是非いろいろな意見を交換してほしいと思います。</p> <p>第一部 事業者による講演</p> <p>LINE 株式会社 政策企画室 高橋 誠 様</p>
----	---

「友だちとの言葉のやりとりで、トラブルにならないようにするために」という題名で講演してくださいました。

ネットトラブルの予防と対策の一例として"悪口"について考える内容で、

「自分にとって嬉しい言葉でも悪口になる」「悪口とは、自分が言われて嫌な言葉ではなく"相手が嫌だと思ふ言葉"である」と話していただきました。

浜松子どもとメディアリテラシー研究所 理事長 長澤 弘子 様

「あなたは どうする?～ネットでのコミュニケーション～」をテーマに『想像する』練習のための旗挙げゲームを取り混ぜながら講演してくださいました。

参加校 学校紹介 および グループ分け

参加学校ごとに、簡単に学校紹介と自己紹介をしていただきました。

自己紹介の後、4つのグループに分かれ、各グループ内で自己紹介などを実施しました。

第二部：熟議「ネットトラブル! どうする?【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

グループに分かれ中村学園スタッフ、企業、団体、大学生がファシリテーターを担当し、高校生熟議を開始しました。メモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめて行きました。ファシリテーターは事前に進行やまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。

第三部：グループ発表

各グループともプレゼンテーションソフトを活用して3分程度の発表を行いました。(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)

その後、引率の先生と各校の生徒代表が集まり、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、静岡市立清水桜が丘高等学校が代表校に選出され、発表されました。

全体講評 NPO情報セキュリティフォーラム 理事 植田 威 様

まず、事業者ミニ講話とグループ発表の振り返りをさせていただきました

A班・・・自ら行う予防・対策、他者による予防・対策について

B班・・・スマ検の導入と法律の改定、情報教育の見直しについて

C班・・・身近なトラブルとその予防事例・対策、相談について

D班・・・LINE、迷惑メール、SNS、詐欺被害、個人情報、著作権、違法DLについて

その後、植田様自身の気づき、学びについてもコメントいただきました。

－ 静岡の高校生の頼もしさを感じました

－ 道具はうまく使おう (道具を使う目的を意識)

	<ul style="list-style-type: none"> － 自己肯定感を育もう － 自ら対処できる判断力：気づきからの学び － 日頃のコミュニケーションの大切さ <p>最後に、夢を持って、それをいろいろな人に語れるようになってほしい。</p> <p>そのコミュニケーションを通じて自身の適用能力や他者を理解することにつながります。本日の参加者が将来は OB、OG として運営スタッフとして戻ってきていただけると嬉しいです。</p> <p>とのお言葉をいただきました。</p>
参加校：	<p>静岡県私立城南静岡高等学校 静岡県立清水桜が丘高等学校 静岡高等学校 静岡県立駿河総合高等学校 静岡県立浜松城北工業高等学校 静岡北高等学校（順不同）</p>
日時：	2016年9月25日（日） 10:00-17:00
場所：	<p>専門学校 静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス 静岡市駿河区森下町 4-25</p>
参加人数：	<p>熟議参加生徒 22人 見学者・関係者 26人（教員・教育関係者・その他） 合計：48人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略）</p> <p>【グループ1】 5名 静岡県立浜松城北工業高等学校1年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校1年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校2年男子、静岡県私立城南静岡高等学校3年男子、静岡北高等学校2年男子 〔ファシリテーター〕 専門学校 静岡電子情報カレッジ 高橋 卓也</p> <p>【グループ2】 6名 静岡県立浜松城北工業高等学校1年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校1年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校1年男子、静岡県私立城南静岡高等学校3年女子、静岡高等学校2年男子、静岡市立清水桜が丘高等学校2年男子 〔ファシリテーター〕 ストップイトジャパン株式会社 谷山 大三郎</p> <p>【グループ3】 6名 静岡高等学校1年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校2年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校2年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校2年男子、静岡県立駿河</p>

総合高等学校 1 年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校 2 年男子
〔ファシリテーター〕
NPO 法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所 長澤 弘子

【グループ 4】 5 名

静岡県立浜松城北工業高等学校 2 年男子、静岡県立浜松城北工業高等学校 1 年男子、
静岡県立浜松城北工業高等学校 1 年男子、静岡市立清水桜が丘高等学校 2 年女子、
静岡県立駿河総合高等学校 1 年男子
〔ファシリテーター〕
静岡大学 小澤 可奈子

4. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	白戸	事務局、庶務
草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会	吉岡、工藤	庶務
専門学校 静岡電子情報カレッジ	中村、小林、有賀	司会、庶務
各地力団体、事業者、大学等		講演、ノベルティ、資料提供、ファシリテーター、受付 他

(敬称略)

5. 高校生 ICT Conference 2016 サミット

高校生 ICT Conference 2016 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

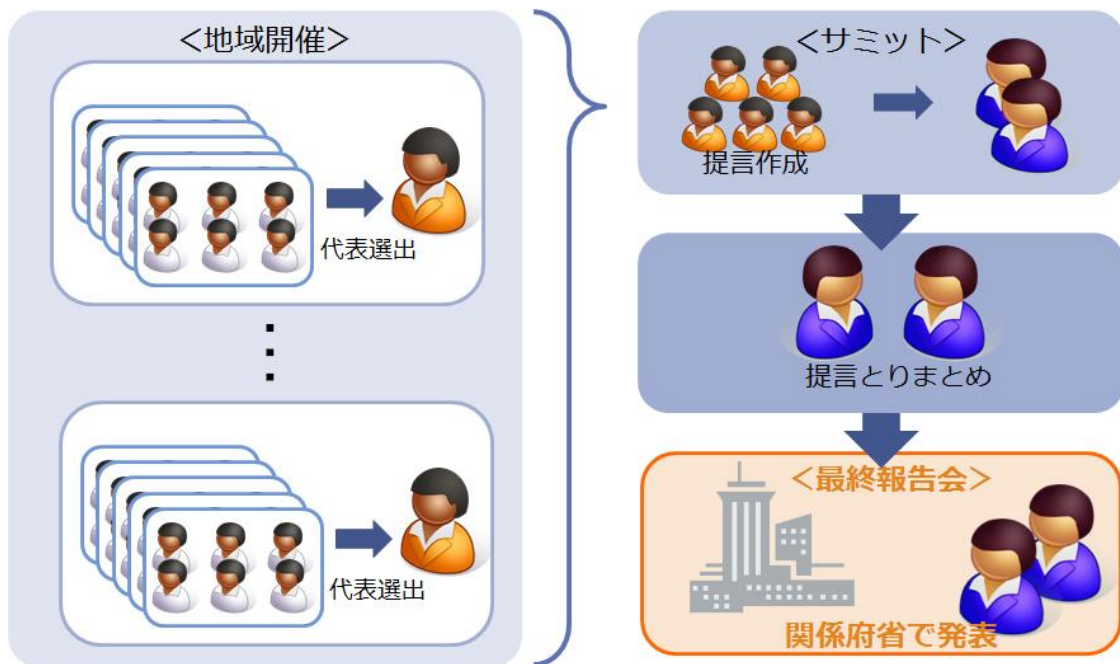
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表（2名）を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2016 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏む。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2016 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2016 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上